

新潟県知事 泉田 裕彦 様

2013 年 3 月 4 日
~~19~~

えちごトキめき鉄道 経営基本計画(素案)についての要請

= 孫・ひ孫の時代まで安心して乗れる鉄道のために =

妙 高 と 信 越 本 線 を 考 え る 会

代表 岡山紘一郎

在来線と地域のあり方を考える直江津・頸城の会

代表 仲田 紀夫

大 糸 線 ・ 北 陸 線 を 守 る 会

代表 丸山 明三

在 来 線 を 守 る 三 市 連 絡 会

代表 尾崎 靖弘

暮らしと地域を支える鉄道の充実をめざす新潟県連絡会

代表 佐藤 一弥

〃 杉崎 雄喜

〃 関川 和彦

えちごトキめき鉄道は本年 1 月、“経営基本計画(素案)”を発表し、3 月 8 日までに“意見募集”を行い、市民等への説明を経て、3 月下旬の取締役会で最終決定すると報道されています。

私たちは、信越線・北陸線(並行在来線)が、孫・ひ孫の時代まで安心して乗れる鉄道として、安定的な経営のもとで存続することを願い、専門家の話や沿線住民・利用者の声を聞きながら、在来線の存続と地域の振興・発展をめざして運動をすすめてきました。

昨年 8 月には、えちごトキめき鉄道の「運行の課題と方向性」等にかかわって沿線住民を対象にアンケート調査も行ってきたところです。その結果を踏まえ、えちごトキめき鉄道の「経営基本計画(素案)」に関し以下について要請します。

要 請 項 目

1. 地域の鉄道は、経営形態にかかわらず、公益性・公共性の高い交通機関です。経営理念に公共交通としての責任及び「住民福祉向上に寄与する」旨を明記すること。セレクトして当然のこと。会社の判断で、
2. 住民アンケートで示された利用者、住民の要望について経営計画に反映すること。収支計画のもとで、
 - (1) 運賃は上げないで、2 社以上にまたがる場合は乗車距離にもとづいて通算すること。決定する。
 - (2) 隣県、JR、ほくほく線の相互乗り入れを行うこと。「見直し」では乗り入れを徴収
通算通算時に、
検討している。

東海線は、安全・快適・利便性の確保、相互乗り入れ運行のため、北陸線DC化を止め交直流電車とすること。
東海線は、安全・快適・利便性の確保、相互乗り入れ運行のため、北陸線DC化を止め交直流電車とすること。

- (3) 安全・快適・利便性の確保、相互乗り入れ運行のため、北陸線DC化を止め交直流電車とすること。
- (4) 優等列車、快速列車の運行継続で、都市間輸送、^{公益}交流ネットワークを確保すること。
- (5) 除雪体制を万全にし、冬期安定輸送を確保すること。

- 3. 住民説明会の要望、住民からの「意見募集」を真摯に受け止め、経営計画に活かすこと。
- 4. 「鉄道とまちの共生ビジョン」アクションプランについて、その優先順位と実施計画について、会社とどのように協議されるのか、特に『他の交通機関との連携』について明らかにされたい。
- 5. 先に明らかにした経営スキーム等にもとずく、資産譲渡・収支予測を早く示すこと。
- 6. 経営計画策定に対し、丁寧に説明し、評価・判断ができるよう利用者、住民が参加する協議の場を設けること。
- 7. 並行在来線の安全対策及び利便性など、今後の運行・運営についてえちごトキめき鉄道に積極的に関わり、住民への情報提供や説明責任を十分果たすとともに、利用者の要望を適切に受け入れることができるよう、継続して住民代表が参加できる仕組みをつくること。
東海線、東海線の安全・利便性の確保、相互乗り入れ運行のため、北陸線DC化を止め交直流電車とすること。
- 8. 並行在来線の安定運行に関し、国とJRの責任と役割を明確にした新たな制度・仕組みを国に働きかけること。

以上